

行徳高校 部活動の活動方針

千葉県立行徳高等学校

校長 池田 浩二

教育目標	<ul style="list-style-type: none">・学校教育目標 「健康な体と豊かな心を養う」「社会に適応できる能力・資質を養う」「自ら学ぶ意欲と自ら考える力を養う」という本校の教育目標のもと、自立した、人間性豊かで社会に貢献できる人材の育成を図り、地域社会の信頼を受ける学校を目指す。 生徒が、学習・部活動等において生き生きとした学校生活が送れ、個性が発揮できるよう環境づくりに力を注ぐ。・部活動の教育的意義 体力の向上、豊かな感性、自律・協調、奉仕の精神や態度を醸成し、できる喜び、参加している実感のある部活動経営を展開する。部活動を通して培われた自己有用感・自己肯定感が、進路実現や将来に役立つ部活動のあり方を実践する。
部活動の基本方針	<ul style="list-style-type: none">①適切な指導 運動部は、生涯にわたって、スポーツに親しむ基礎を培い、試合期とオフシーズンの練習において、科学的なトレーニングや合理的かつ効率的な指導を行い、自主性・自立性を尊重する。 文化部は、生涯にわたって、芸術文化等に親しむ基礎を培い、合理的かつ効率的な指導を行い、自主性・自立性を尊重する。②適切な活動時間 それぞれの特性を活かして効率的な指導を行うため、活動時間、試験期など学業への配慮、休養日を設定する。 活動時間や休養日等は「安全で充実した運動部活動のためのガイドライン」「持続可能で充実した文化部活動のためのガイドライン」に準ずる。③事故防止 日々の安全指導、施設・設備の点検、生徒の健康状態の把握を行い、怪我や熱中症等の防止を行う。④その他 各部活動で指導者と生徒のニーズに合わせた活動計画を作成して、保護者との連携をとり、地域貢献ができる部活動を行う。